



2学期に向けて ー新型コロナウイルス感染症対策徹底のお願いー

校長 前田 倍成

【感染の現状】

- ◇ デルタ株への置き換わりが進み、全国的に新規感染者数が急速に増加するなど、これまでに経験したことのない感染拡大の局面にあります。
- ◇ 本県は、ステージⅣ（感染拡大緊急事態）であり、「まん延防止等重点措置」も延長（～9月12日）されました。
- ◇ 県内児童生徒の感染状況は、7月下旬以降、多くの児童生徒の感染が判明しており、そのうちの多くが家庭内感染であることがわかっています（県感染対策本部会議資料）。

【本校での感染対策の取組】

こうした状況を受け、2学期以降、本校でも感染対策の一層の徹底を図っていきます。

- ①「学校の新しい生活様式」に沿い、児童、教職員が、毎日の健康チェック（検温等）、手洗い・消毒、マスク着用、換気等の基本的な感染防止行動を徹底する
- ②座席の配置：1m（最低でも80cm）の距離をとる
- ③座席簿の作成・管理
- ④対面型教室使用（理科室、家庭室等）の見合わせ
- ⑤学習活動での制限・配慮
 - ・音楽では歌唱、演奏、家庭科では調理など
 - ・教科を問わず、グループ学習などで密になることを回避する
 - ・外部講師等を招聘する学習は見合わせる など
- ⑥清掃活動：ゴミ捨て、トイレ清掃は、教職員で行う
- ⑦移動図書の延期
- ⑧万一来校に備え、サマースクール中に全学年、タブレット及びACアダプターを持ち帰る
- ⑨新型コロナ感染症対策に関する研修を養護教諭、管理職はじめ教職員が受講する

【保護者のみなさまへのお願い】

夏休み前にもお願いいたしましたところですが、児童の感染を防ぎ、安心・安全な教育活動を推進するためには、各ご家庭のご協力を欠かすことができません。改めまして以下の項目について、どうぞみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

- 毎日の健康チェックを習慣とし、お子様に発熱等の風邪症状がある場合には、登校や外出を控えさせ、自宅で休養するよう徹底していただくこと
- 不要不急の外出（特に、「緊急事態宣言地域」や「まん延防止等重点措置実施区域」との往来）を控える、友人同士の家庭間の行き来を控える、家族ぐるみの交流による接触を控えるなど、感染が広がらないよう慎重な判断、行動をしていただくこと
- 各ご家庭でも、「新しい生活様式」を継続実践していただくとともに、遊興施設など混雑している場所や時間を避ける、大人数、長時間の飲食を避けるなど、日常生活の中で感染リスクを減らす行動を心がけていただくこと
- 万一、感染あるいは濃厚接触者となった場合は、速やかに学校へご連絡いただくこと。

！ 感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「**手洗い**」や「**マスクの着用を含む咳エチケット**」です。

① 手洗い 正しい手の洗い方



- 1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 2 手の甲をのぼすようにこすります。
- 3 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 4 指の間を洗います。
- 5 親指と手のひらをねじり洗います。
- 6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう

② 咳エチケット 3つの咳エチケット



電車や職場、学校など人が集まる場所でやろう

マスクがない時
マスクがない時
マスクがない時

何もせずに咳やくしゃみをする ×
咳やくしゃみを手でおさえる ×

マスクを着用する（口・鼻を覆う）
ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



- 1 鼻と口の両方を確実に覆う
- 2 ゴムひもを耳にかける
- 3 隙間がないよう鼻まで覆う



首相官邸
厚生労働省
厚生省 検索



※マスクの着用方法によって飛沫の捕集効果に違いが生じます。正しい方法で着用することが大切ですので、学校でも指導しておりますが、おうちでも改めてお子様に確認をお願いします。
※なお、一般的なマスクでは、不織布マスク、布マスク、ウレタンマスクの順に効果が高いとされています。